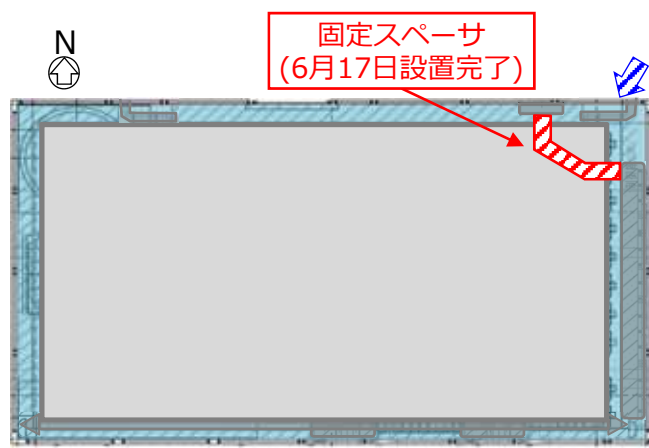


福島第一原子力発電所 1号機使用済燃料プールにおける養生バッグ設置作業の完了について

< 参 考 資 料 >
2020年6月18日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 1号機では使用済燃料プール（以下「SFP」）からの燃料取り出しに向けて、原子炉建屋上部のガレキ撤去作業を行っております
- 今後、SFP上にある屋根鉄骨等のガレキ撤去作業を行うにあたり、万が一、ガレキがSFPに落下した際に、SFP内に保管されている燃料等の健全性に影響を与えるリスクを低減することを目的に、SFPに養生バッグの設置作業を実施しております。
- 6月11日にSFP（水面）上へ展張した養生バッグ内部へのエアモルタル充填作業が完了後、昨日（6月17日）養生バッグに移動防止用の固定スペーサの設置作業が完了しました。
- 本日（6月18日）、午前11時18分、養生バッグ設置作業のために低下させていたSFP水位の回復操作を完了後、午前11時24分、SFP循環冷却系の運転を再開しました。
- その後、SFP循環冷却系の運転状態等に問題がないことを確認したことに伴い、午前11時36分、養生バッグの設置作業が完了しました。これにより、今後、万が一、ガレキがSFPに落下した際にも、SFP内に保管されている燃料等の健全性に影響を与えるリスクを低減できるものと考えております。
- 引き続き、2027年度から2028年度に開始予定の燃料取り出し作業に向けて、安全最優先でガレキ撤去作業等に着実に取り組んでまいります。



■ : 養生バッグ ↙ ↘ : 図2,3撮影方向
図1.養生バッグおよび固定スペーサ配置図

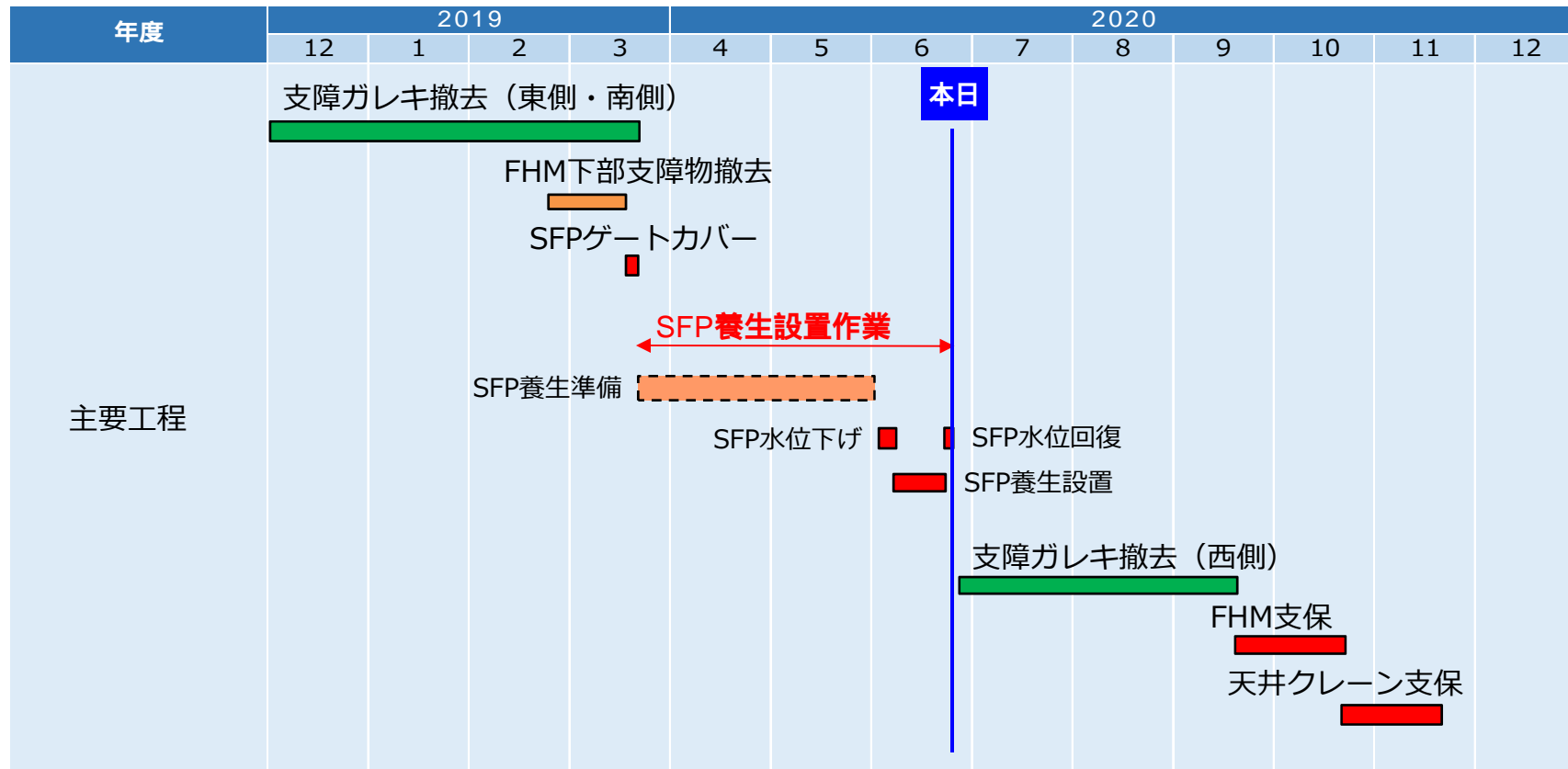


図2.固定スペーサ設置作業の状況
(6月17日撮影)



図3.固定スペーサ設置完了後の状況
(6月17日撮影)

【参考】スケジュール



※各工程にはトレーニング、準備期間含む。
 上記スケジュールは、工事進捗やトレーニング等により変更となる可能性あり。